

2023年4月3日

2023年度新入社員向け社長挨拶

日立造船株式会社 社長兼 CEO 三野 禎男が新入社員向けに訓示を行いましたので、要旨を下記のとおりお知らせいたします。

日立造船の新しい仲間として 102 名の新入社員をお迎えできました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、学業や課外活動、プライベートなどで制限があった中、皆さんが苦勞を乗り越え、本日を迎えられたことをたいへん嬉しく思います。ここに、皆さんへの期待と激励の気持ちを込めて、入社後 15 年間で目指してほしい姿をお伝えします。

・世界を舞台に活躍できるプロの「仕事人」になろう

最初の 5 年間では、一人前の担当者として戦力となるよう努力し、仕事力を身につけて世界を舞台に活躍できる「仕事人」になってください。当社は顧客のおられる所へは世界中どこへでも進出し、真のグローバル企業になることを目指していますが、語学力を磨くとともに配属された部門で与えられた仕事に全力で取り組みキャリアを重ね、専門性の高い人材になってください。そして、環境や水、エネルギーといった世界的な課題の解決に取り組み、国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」の達成に貢献していきましょう。

・自ら果敢に挑戦し、主体的に行動する「社会人」になろう

次の 5 年間では、自ら果敢に挑戦し、人間力を身につけた、主体的に行動する「社会人」になってください。当社の創業者であるエドワード・ハズレット・ハンターが持っていた高い挑戦意欲は、現在も当社に引き継がれています。皆さんには失敗を恐れず積極的に仕事に挑戦してほしいと思います。仕事の指示を受動的に待つのではなく、今年度よりスタートした新中期経営計画「Forward 25」期間のスローガンである「Act now for the future」にあるように「今やろう！」を合言葉に、積極的に取り組んでほしいと思います。挑戦する人の周りには多くの人が集まり、色々なアドバイスがもらえます。そのアドバイスを基に、謙虚な姿勢でどんな変化にも柔軟性をもって主体的に取り組める挑戦力をもった人材になってください。

・日立造船の技術と人を未来へ繋げる「育成人」になろう

最後の 5 年間では、所属部門の中核として業務を遂行するとともに、部下や後輩の育成にも力を発揮し、日立造船の技術と人材を未来へ繋げる「育成人」になってください。当社は「ダイバーシティ・マネジメント」を掲げ、組織・性別・国籍等の壁を取り払い、多様な価値観を尊重した企業活動を行い、企業競争力の強化と新たな価値創造に努めていますので、多様な人材・価値観を未来に繋げてください。

私は、職員が喜んで働きたいと感じる魅力ある会社にしていきたいと思っています。皆さんも、当社を魅力ある会社にしていくという気持ちを持って仕事に取り組んでほしいですし、自分のプライベートも充実させて、人生を楽しんでほしいと思っています。

最後に、皆さんの成長と大いなる活躍を心から期待しております。社会人としての初心、そしてご家族をはじめお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、仕事を楽しむ気持ちを持って、一緒にがんばっていきましょう。

(終)